

近年の埋蔵文化財

発掘調査の紹介



牛田・川除地区遺跡群の牛田古墳群2号古墳の石室写真です。壁は河原石をモザイク状に積み上げる「模様積み」と呼ばれる積み方で、藤岡市と周辺にのみ見られる石室の作り方です。

川除屋敷裏遺跡B地点からは古墳時代から平安時代にかけての住居跡も発掘されており、現在は神流川に沿った低地ですが、古代には多くの人々が暮らす集落が営まれていたことがわかりました。

牛田・川除地区遺跡群(牛田・川除・本郷)



牛田古墳群の空中撮影写真です。古墳時代終末期の7基の古墳が確認できました。



笹川沿岸地区遺跡群の本郷花ノ木D遺跡の空中撮影写真です。古墳時代から奈良時代にかけての住居跡が110軒確認されました。四角に掘られた住居跡が密集しており、現在の水田地帯の下に古代の村が埋もれていました。

笹川沿岸地区遺跡群(本郷)



笹川沿岸地区遺跡群発掘調査で出土した、K-1号古墳の空中撮影写真です。横穴式石室を持つ古墳であり、右下が石室開口部となります。石室天井が陥没しており、上空から石室内が見えます。



▲発掘された軒丸瓦
ハスの花を表しています

牛田・川除地区遺跡群の川除屋敷裏遺跡B地点から発見された古代寺院「牛田廃寺跡」の発掘時の写真です。屋根に葺かれていた大量の瓦が見つっています。

「牛田廃寺跡」は藤岡市内で初めて見つかった古代寺院跡で、8世紀から9世紀前半まで使われていた寺院と考えられます。

地元の協力により遺跡が保護され、令和2年度に市の史跡に指定されました。



発掘調査の流れ

掘削を伴う工事などを行う場合には、以下の手続きが必要です

① 事前照会

予定地が遺跡の範囲に該当するか、ファクスまたはメールで問い合わせてください。
「該当あり」→ ②へ進みます



② 発掘届提出

工事着手予定日の60日前までに文化財保護課へ1部提出。
※添付図面には、建物・施設などの基礎掘削の深さが分かる図面が必要です



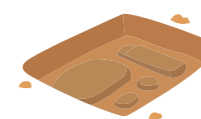
③ 発掘届に対する指導書

提出から約1週間前後で指導書を送付します。指導内容は「慎重工事」「工事立会」「発掘調査」のいずれかです。
工事規模・内容によっては試掘調査を行う場合もあります。



④ 指導書が「発掘調査」であった場合

工事に先立って発掘調査を行ってください。発掘調査の費用は全額が開発者の負担となりますので、注意してください。発掘調査は、「現場作業」の後に「整理作業」となり、発掘調査報告書を刊行して終了となります。工事の着手は、現場作業終了後に実施できます。



フユザクラ樹勢回復委員会		
金澤 好一	文化財保護審議会委員	樹木医
岩崎 博之	群馬大学	気象学
太田 祐子	日本大学	森林病理学
田中 あゆみ	信州大学	樹木生理生態学
廣岡 裕吏	法政大学	植物病原菌類学

※敬称略

今後、現地調査の結果を検討しつつフユザクラの樹勢回復へつなげていきたいと考えています。令和6年度には樹勢回復へ向けた方向性が示されることを期待し、目標にしています。

樹木は急激に樹勢回復の効果が出るものではありません。さまざまな方法を試しながら行いますので、時間がかかる地道な調査や作業が必須となります。本年のフユザクラは例年に比較してよく開花しました。サクランも期待しているでしょう。長く温かく見守っていただければ幸いです。

この国指定範囲のフユザクラは、平成24年度の調査では407本が確認されていましたが、令和2年度の調査では185本と著しい衰退が確認されました。

このためフユザクラの樹勢回復に向けて、令和3年10月に衰退の原因や樹勢回復の方法を樹木研究だけでなく、さまざまな視点で検討調査を行うため、広い分野の第一線の研究者を招き、フユザクラ樹勢回復委員会を結成しました。

上毛かるたにもある、「三波石と共に名高い冬桜」で有名な桜山公園の山頂部(約1.7ヘクタール)は国指定名勝および天然記念物、三波川(サクラ)となっています。



三波川(サクラ) 樹勢回復調査